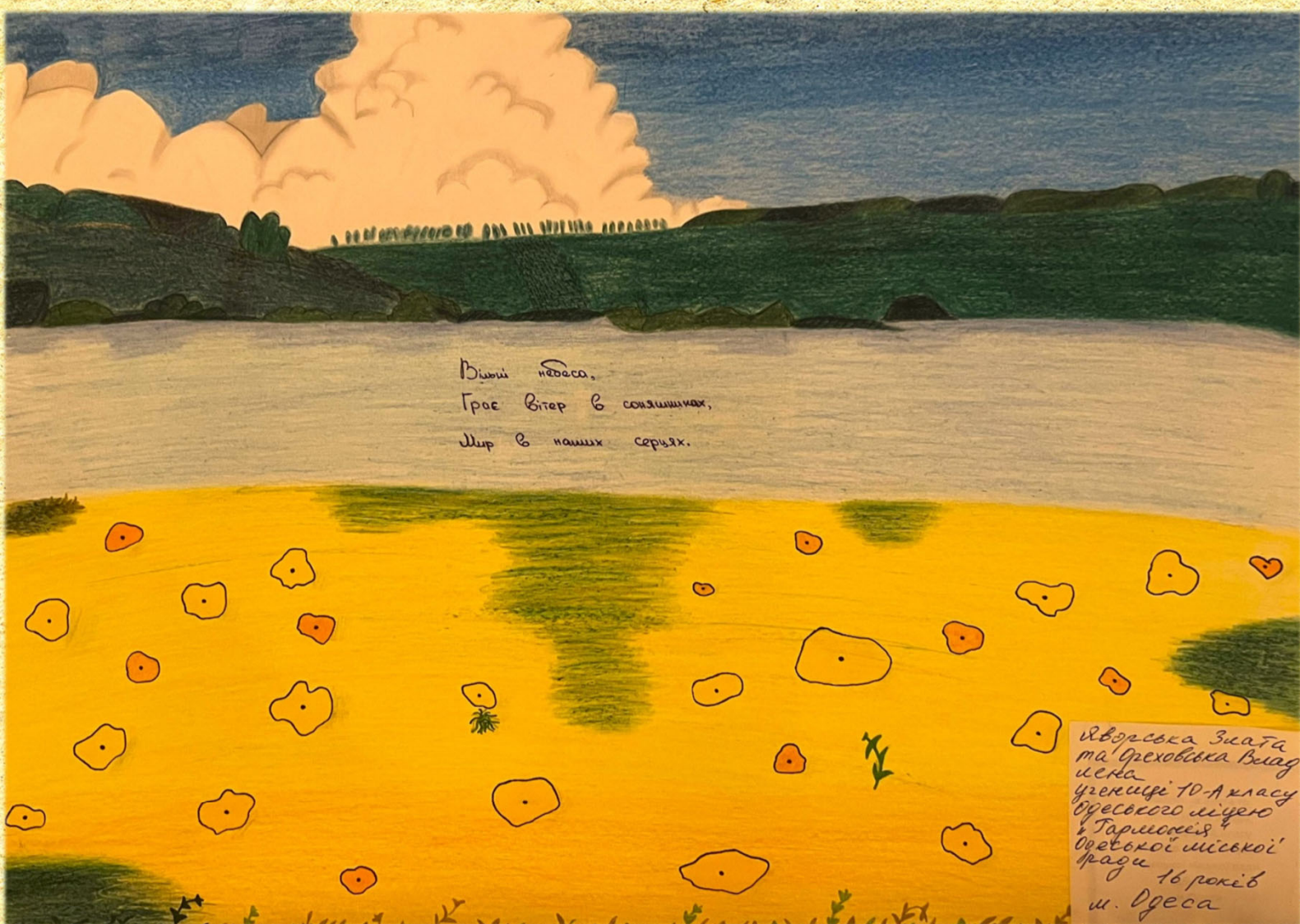


絵画展

ウクライナの空の下で

—子どもたちが紡ぐ ことばといのちの風景—



2025年6月10日（火）10:00 ▶ 7月11日（金）14:00

1期 6月10日（火）～19日（木） 2期 6月20日（金）～30日（月） 3期 7月1日（火）～11日（金）

*展示作品を入れ替えて展示します

入構時間 平日9:00～17:00（最終日は14:00）／土曜日9:00～13:00

清泉女子大学 1号館ロビー

申し込み不要。ご来学の際は、正門横の守衛所でお手続きをお願いいたします

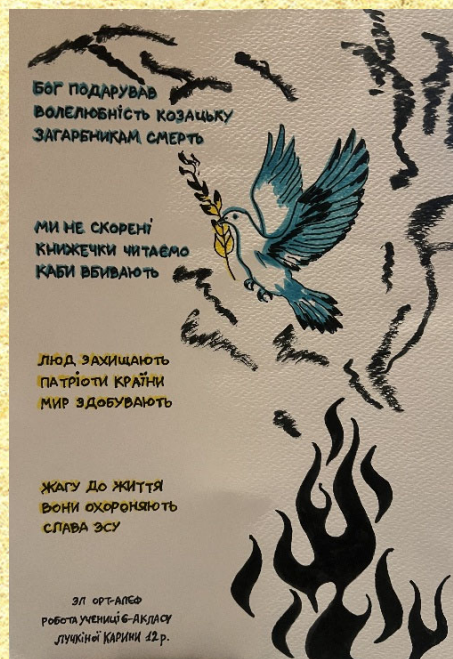
主催／お問い合わせ先 清泉女子大学総合文化学部

〒141-8642 東京都品川区東五反田3-16-21 Email: soubun-staff@ml.seisen-u.ac.jp（総合文化学部研究室）

電話：03-3447-5551（代）

協賛：清泉女子大学文学部文化史学科、キリスト教文化研究所、ラファエラ・マリア・センター、日本学術振興会科研費・基盤B「戦時下の教会：ウクライナとその周辺国における宗教・国家・社会」（代表者・井上まどか 24K00012）

協力：オリハ・ニコレンコ氏（ボルタワ国立教育大学）、野中進氏（埼玉大学）、三橋俳句会・九条俳句市民の会



作者：カリーナ・ルチキナ（12歳）
ザポロージャ州

俳句（抄訳）

人々を守る

この国の愛国者たち

平和は勝ち取られつつある

生への渴望

彼らは守る

ウクライナ軍に栄光あれ！

絵画展について

本展「ウクライナの空の下で ― 子どもたちが紡ぐ ことばといのちの風景 ―」では、ウクライナ出身の子どもたちによる約230点の絵画作品を展示します。作品は3期に分けて展示されます。1期につき60～80点をご覧ください。

出展者は、東部のザポロージャ州から西部のリヴィウ州まで、ウクライナ各地を出身地とする子どもたちです。戦争の影響で一時的に国外に避難している子どもたちによる作品も含まれています。

本展では、俳句とともに創作された絵画作品を中心に、俳句の和訳・英訳、各絵のモチーフ解説、ウクライナの教育環境や子どもたちの現状、俳句文化の広がりについても紹介します。

清泉女子大学におけるウクライナの子どもたちの絵画展は、2024年5月に開催した「私たちの生きる時代～ウクライナの子どもたちが見た世界」に続き、今回が2回目となります。

2024年の絵画展は、ウクライナで児童創作コンクールを実施してきたオリハ・ニコレンコ氏（ポルタワ国立教育大学教授）と日本の野中進氏（埼玉大学副学長）の協力によって実現しました。2025年の本展も両氏のご尽力に加え、日本の三橋俳句会・九条俳句市民の会が関わり、俳句を取り入れた絵画作品が寄せられました。

ウクライナの教科書には松尾芭蕉をはじめ、日本の俳句が紹介されています。子どもたちにとって俳句は親しみのある表現形式です。今回の創作コンクールでは、「平和」をテーマに、絵と響きあう俳句の創作が三橋俳句会・九条俳句市民の会より提案され、それが実現した形となっています。